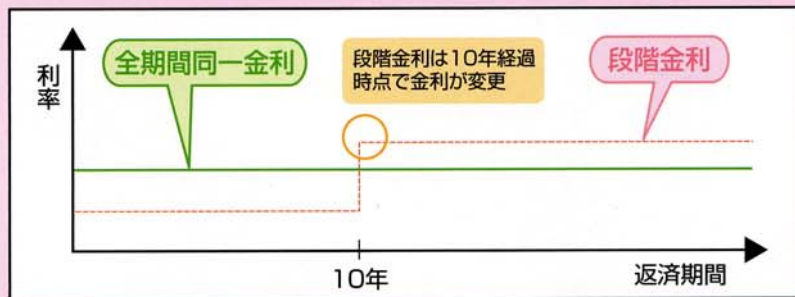


フラット35は、民間金融機関が、住宅金融公庫と提携して実現した“長期固定金利”の住宅ローンです

20年、30年と長期に渡る住宅ローンは借入金額も大きく、もしご返済される住宅ローンの金利が上がるようなことがあるとライフプランに大きな影響が出てきます。それぞれの住宅ローンの特徴を正しく知って、より良い住宅ローンを選びましょう。フラット35は、「金利の変わらない安心」で大切なマイホームでのライフプランをサポートします。

フラット35 長期固定金利型

借り入れたときの金利が全返済期間を通じて変わらないタイプ



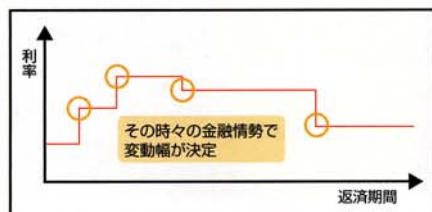
借入時に毎回の返済額が確定しているので、計画的な返済を行うことができ、安心です。低金利時に借りると、将来にわたり低金利に基づく返済額を確定することができます。(フラット35はこのタイプです。)

フラット35は、全期間を通じて同じ金利のタイプのものがほとんどですが、返済期間が10年経過した時点で金利が変更される「段階金利」の固定金利型商品もあります。

※フラット35は資金お受け取り時の金利が適用されます。

変動金利型

金融情勢の変化に伴い返済の途中でも定期的に金利が変動するタイプ



原則として半年に1度、短期プライムレートの変動に応じて適用金利が変わります。このため、借入時に将来の返済額が確定されません。高金利時に借りると将来の金利の低下に合わせて返済額が下がりますが、低金利時に借りると、将来の金利の上昇とともに返済額が増えます。

固定金利期間選択型

「当初5年間〇%」など、一定期間に固定金利が適用されるタイプ



固定金利期間が終了した後に適用される金利は、住宅ローン商品によってさまざまです。ある一定期間の返済額は確定することができますが、固定金利期間終了後の返済額が確定されません。「変動金利型」同様、高金利時に借りると将来の金利の低下に合わせて返済額が下がりますが、低金利時に借りると、将来の金利の上昇とともに返済額が増えます。